

御杖村の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区 分	住民基本台帳人口 (28年1月1日)	歳 出 額 A	実質収支	人 件 費 B	人件費率 B/A	(参考) 26年度の人件費率
27年度	人 1,805	千円 2,201,762	千円 321,412	千円 440,293	% 20.0	% 20.9

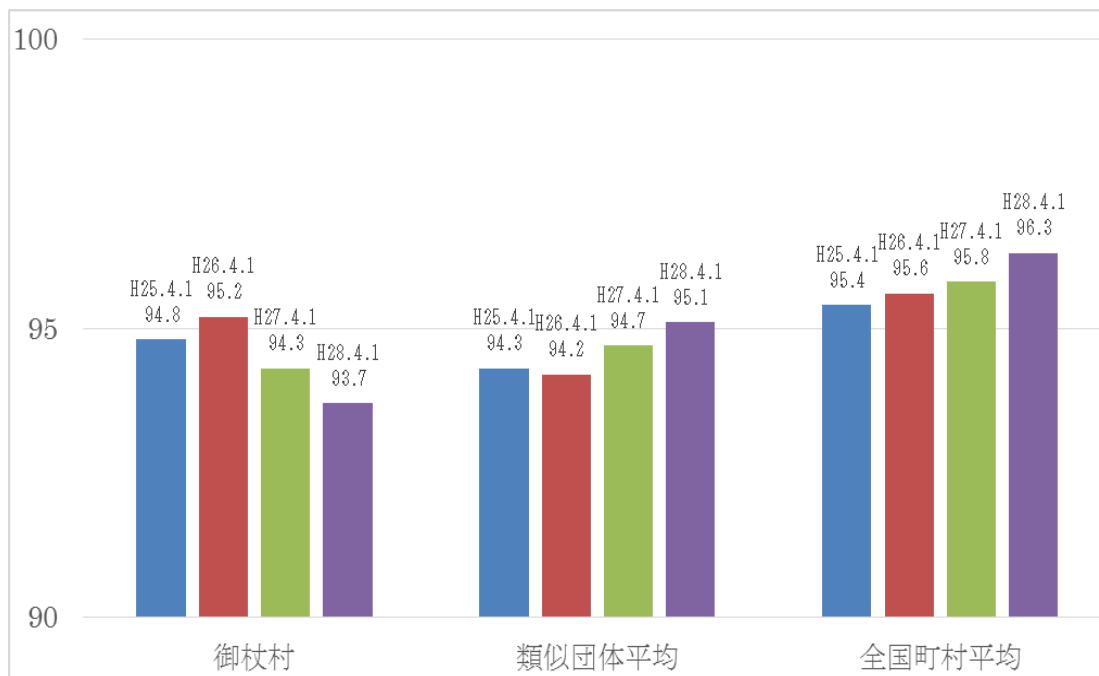
(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区 分	職員数 A	給 与 費			
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B
27年度	人 45	千円 180,625	千円 23,929	千円 68,575	千円 273,129

(参考)一人当た り給与費 B/A	(参考)類似団 体平均一人当 たり給与費
千円 6,069	千円 5,504

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、平成 27 年 4 月 1 日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均

したものである。

- 3 平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

※ 28年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

(4) 給与改定の状況

本村は人事委員会がないため省略

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

① 給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）平成27年4月1日

（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均1.7%引下げ。激変緩和のため、3年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。

② 地域手当

制度なし

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成28年4月1日現在）

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
御杖村	45.5歳	318,700円	364,492円	346,997円
奈良県	42.9歳	327,977円	414,719円	371,383円
国	43.6歳	331,816円	—	410,984円
類似団体	40.9歳	295,868円	337,348円	321,005円

(注) 1 「平均給料月額」とは、28年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2) 職員の初任給の状況(平成28年4月1日現在)

区 分		御杖村	奈良県	国
一般行政職	大学卒	176,700円	184,400円	176,700円
	高校卒	144,600円	150,500円	144,600円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(28年4月1日現在)

区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	218,100円	309,700円	336,300円	—
	高校卒	—	292,300円	297,500円	357,300円

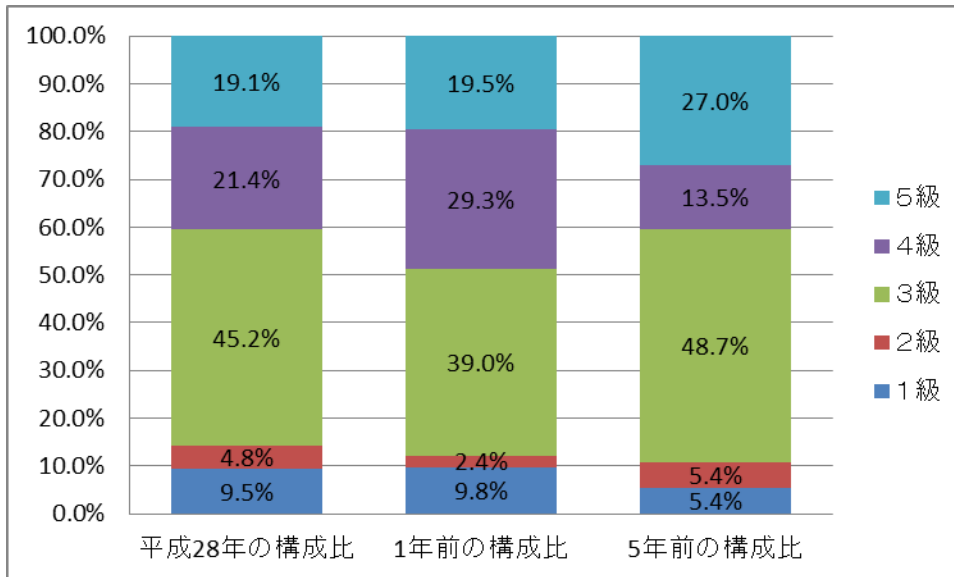
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況(28年4月1日現在)

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の 給料月額	最高号給の 給料月額
1 級	定型的な業務を行う主事、主事補の職務	4人	9.5%	140,100円	246,100円
2 級	特に高度の知識又は経験を必要とする業務を行う主事の職務	2人	4.8%	190,200円	303,000円
3 級	主任の職務	19人	45.2%	226,400円	348,800円
4 級	課長補佐、困難な業務を処理する主任の職務	9人	21.4%	259,900円	379,800円
5 級	参事、課長又は主幹の職務	8人	19.1%	286,200円	391,800円

(注) 1 御杖村の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成 28 年 4 月 2 日から平成 29 年 4 月 1 日 までにおける運用	御杖村		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用			○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用	○	○		
ロ 人事評価を実施していない				

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

御杖村	奈良県	国
1人当たり平均支給額(27年度) 1,484千円	1人当たり平均支給額(27年度) 1,576千円	—
(27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.60 月分	(27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.60 月分 (1.45)月分 (0.75)月分	(27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.60 月分 (1.45)月分 (0.75)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~10%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤労手当への勤務成績の反映状況（一般行政職）

平成 28 年度中における運用	御杖村		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の成績率も適用			○	○
標準に加え、上位の成績率も適用				
標準に加え、下位の成績率も適用				
標準の成績率のみ適用	○	○		
ロ 人事評価を実施していない				

(3) 退職手当（28年4月1日現在）

御杖村			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分	勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置（2～45%加算）			定年前早期退職特例措置（2～45%加算）		
1人当たり平均支給額		20,737千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、26～27年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当（28年4月1日現在）

制度なし

(4) 特殊勤務手当（28年4月1日現在）

制度なし

(5) 時間外勤務手当

支給実績（27年度決算）	1,821 千円
職員一人当たり平均支給年額（27年度決算）	87 千円
支給実績（26年度決算）	1,276 千円
職員一人当たり平均支給年額（26年度決算）	64 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（○年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当 (28年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (27年度決算)	支給職員1人 当たり 平均支給年額 (27年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000 円	同じ	/	7,868 千円	302,615 円
	配偶者以外 1人につき 6,500 円				
	職員に配偶者がいない 場合は、そのうち1人 について 11,000 円				
	満 15 歳に達する日後の最初の 4 月 1 日から満 22 歳に達 する日以後の最初の 3 月 31 日までの間にある子 1 人につ き 5,000 円を加算				
住居手当	住宅家賃 上限 27,000 円	同じ	/	1,812 千円	302,000 円
通勤手当	交通機関利用 上限 55,000 円 自家用車等使用 2km 未満は未支給 2km 以上は距離に応じて 2,000~24,500 円	同じ	/	4,029 千円	108,892 円
管理職手当	参事 36,000 円 課長・主幹 31,000 円 課長補佐 25,500 円	異なる	支給額	6,096 千円	338,667 円
宿日直手当	1 勤務につき 4,200 円	同じ	/	1,915 千円	59,844 円

5 特別職の報酬等の状況（28年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	市 区 町 村 長	600,000 円	(参考) 類似団体における最高/最低額	
			840,000円 / 416,500円	
報 酬	議 長	192,000 円	395,000円 / 160,000円	
	副 議 長	152,000 円	310,000円 / 130,000円	
	議 員	147,000 円	290,000円 / 115,000円	
期 末 手 当	村 長	(27年度支給割合)		3.15 月分
	議 副 議 長 員	(27年度支給割合)		3.15 月分
退 職 手 当	村 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
		60万円×520/100×在職年数 選択制	12,480千円	在職中通算又は任期ごとの
	備 考			

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

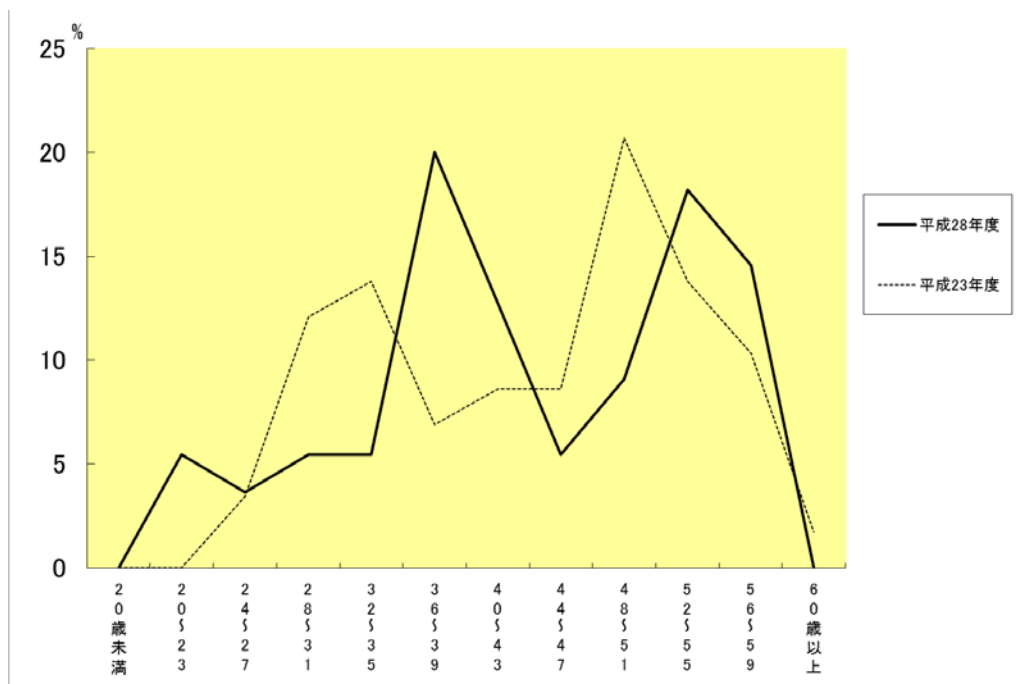
(各年4月1日現在)

部 門	区 分		職 員 数		対 前 年 数 増 減 数	主 な 増 減 理 由
			平成27年	平成28年		
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	1	1	0	業 務 増 (桜 井 宇 陀 広 域 連 合 派 遣)
		総 務	17	18	1	
		税 務	2	2	0	
		民 生	8	8	0	
		衛 生	2	2	0	
		農 林 水 産	3	3	0	
		商 工 土 木	2	2	0	
	計	40	41	1	< 参 考 > 人口1万人当たり職員数 227.15人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 204.17人)	
	教 育 部 門	5	5	0		
	消 防 部 門	0	0	0		
小 計	45	46	1	< 参 考 > 人口1万人当たり職員数 254.85人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 242.47人)		
公 営 会 社 業 計 等 部 門	病 院	4	4	0		
	水 道	1	1	0		
	国 保	2	2	0		
	介 護	1	1	0		
	後 期 高 齢	0	0	0		
小 計	8	8				
合 計		53	54	1	< 参 考 > 人口1万人当たり職員数299.17人	
		[73]	[73]	[0]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（28年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	0人	1人	6人	1人	2人	7人	10人	3人	6人	6人	12人	0人	54人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	42	41	41	41	40	41	-1(-2.4%)
教育	6	6	6	6	5	5	-1(-16.7%)
消防	0	0	0	0	0	0	0(%)
普通会計計	48	47	47	47	45	46	-2(-4.2%)
公営企業等会計計	8	8	8	8	8	8	0(%)
総合計	56	55	55	55	53	54	-2(-3.6%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

7 公営企業職員の状況

本村は地方公営企業法を適用する公営企業がないため省略